

令和4年度 第1回 備前市公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和4年8月24日（水） 14時00分～14時57分

開催場所：備前市役所 3階 大会議室

出席委員：吉村 武司【備前市長】

濱山 一泰【備前市市民生活部長】

渡邊 聡一郎（代理）【西日本旅客鉄道（株）】

小野 一嘉【県タクシー協会和気支部】

松下 重光【事業用自動車の運転手代表（株式会社インベタクシー）】

金本 伸一【備前市自治会連絡協議会】

高木 常孝【備前市自治会連絡協議会】

川邊 健作【備前市自治会連絡協議会】

杉山 玄意【備前市老人クラブ連合会】

松本 和好【備前市老人クラブ連合会】

大東 正虎【ノートルダム清心女子大学人間生活学部人間生活学科教授】

松嶋 泰憲【中国運輸局岡山運輸支局】

東原 良樹【岡山県備前県民局東備地域管理課】

西澤 佑（代理）【備前警察署】

松尾 恭子【岡山県県民生活交通課】

青砥 良定【瀬戸内市総合政策部企画振興課】

河野 憲一【和気町総務部危機管理室】

出席委員 17名

委任状提出委員 4名

傍聴者：2人

事務局：市民生活部公共交通課

杉山（課長）、河上（係長）、千田

1. 開会

2. 会長あいさつ

・日頃より市政、並びに市内の公共交通行政に深いご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。今後の備前市にとって、より利便性の高い公共交通体系になるよう、備前市としても是非とも取りまとめていきたいと考えている。活力ある地域社会の実現に向けてお力添えいただくようお願いしたい。

・本日は、10月1日より実施予定の新規バス停の設置及び一部のダイヤ改正と自家用有償旅客運送の更新等について協議していただきたい。本市の公共交通が地域の実情に応じた公共交通となるよう、また、限られた資源を有効に活用し、持続可能な地域公共交通網となるよう皆様方の忌憚のないご意見や、お知恵を拝借させていただき、よりよい方向へ向かうようお願い申し上げます。

・2つばかりお願いをしたい。来年の3月末までに市民の皆様を対象にマイナンバーカードの取得について総務省の方から強力な依頼が参っている。備前市としては60%を超えていない取得数であるため、備前市に関係の皆様方、帰られたらご親戚ご近所、是非ともマイナンバーカードの取得率が上がるようお願いをしたい。

・2つ目は、現在岡山県内のコロナ陽性患者が急増している。接種券等を対象者の方にお配りしているので1日も早い接種をお願いしたい。また、備前市では抗体検査キットを無料で配布している。事前にチェックするなど健康な状態で市内外の活動をしていただきたい。

3. 議事

議事1 新規バス停の設置及び一部ダイヤ改正について

－事務局からの説明（資料：P1～P16）－

会 長：ご意見やご質問はないか。

委 員：三石線がお医者バスルートを運行するという事について備前市民については大変素晴らしいことだとは思いますが、私共にとっては大変負担になることを申し上げさせて頂きたい。市バスを備前市が運行するようになったのは第一期の吉村市長の市政の時。日生運輸さんが民間バス事業を撤廃されて非常に短期間で公共交通網の礎を確立された。卓越された先天性と行動力、指導力というものを示されて私共備前市のタクシー事業者も吉村市長の示された未来に努力を惜しまない覚悟で本日までやって参った。

その後も私は公共交通会議には参加し、その中でこのお医者バスの実証運行にも参加している。あらゆる交通網がそうであるように私共タクシー事業者も非常に売上げが減少して困った状況にある。その中で片上和気線は、日生運輸さんが過去に運行されていて一時期備前市では運行しないということで取りや

めされていたが、和気町様とのアライアンスで運行再開した便によって、私共インベタクシーは1日3,000円程の減少になった。たった3,000円だが1年を通して100万円になる。それと同じようにこのお医者バスも我々がいつもタクシーでお運びしていたお客様が乗られるのだなということが重々良く分かった。これによって私共の売り上げ減は1ヶ月9,000円程。実証運行は1年も行わなかったわけだが、もしもこの1日9,000円の売り上げ減を364日続けるのだとすれば、300万程の売り上げが減少になる。実際は平日のみの運行なのでそうではないが。

片上和気線の運行をとにかくいうつもりはないし、お医者バスは乗られた備前市民皆さんは大変喜ばれている。タクシー代が高いからこれまで月に1、2回タクシーに乗って買い物や病院に行っていたものを、バスが動き出したら週に1、2度スーパーに生鮮食品を買いに行ける。新鮮なものが食べられると非常に好評だった。備前市民の方にとっては非常に素晴らしい政策だと思うが、私共タクシー事業者にとっては2路線併せて400万の減収。コロナ渦で非常に苦しい耐えられないものになる。だからと言ってやめてくれと言うわけではないが、是非お含みおきいただきたいと思い発言させて頂いた。

会長：最近はこの状況でタクシーの運行時間も前倒しになっており彼らの経営は苦しいのだろうなということを一市民として理解している。そして備前市民にとって足となるいろんな手段があると思うし、またそれも多様化しているというのを市長としても認識している。

私は、タクシー利用の増進を図ろうとタクシーチケットを実は県下でもいち早く導入し、そしてその枠を1年1年拡大してきた。タクシーチケットの利用の仕方もその年度で若干変わり、より改善されているとは思いますが、まだまだ改善の余地はあるのではないかという気はしている。

特にマイナンバーカードを総務省が来年の3月末までに全国民にという目標を掲げている。備前市も1階でマイナンバーカードの交付をしているがまだ60%に満たないということで、先日も担当課に総務省から直接、全国各市の利用増進の話があった。私はこのようなマイナンバーカードの普及が公共交通の料金面においても利用面においても大きく関われると思っている。今のタクシー事業者は備前市で最小限のタクシー台数、タクシー会社で頑張っているということとは良く分かっている。今のご意見を参考にしながら、公共バスとタクシーとその両立が図れ、またそれぞれのメリットを生かしていかなければならないと思っている。貴重なご意見をいただいたので参考にさせていただきたい。

他にご意見はないか。

今回はバス停の設置や改善提案であるが、色々な声を市民の方から聞く。高齢者はバス停が遠くにありすぎてバスは見るだけ。小さなお子様が移動するにしても利便性が良くないというお叱りをご父兄の方から頂く。

県下の公共バス行政、そして民間のタクシー会社、そして公共交通の代表でもある JR 西日本の山陽本線、赤穂線、そして宇野バスさん、皆様方の元気で市民の為になる改善改革を担当課で日夜、議論をしている。何かご意見があればお聞かせいただき、なければ新規バス停の設置及び一部ダイヤ改正にいてご理解をいただいたということで次に進めさせて頂きたい。

<承認>

議事の(1)番の新規バス停の設置及び一部ダイヤ改正については、提案のとおり承認された。

また、インベタクシーさんからのご意見等も今後の運営に生かしていきたいと思っている。

議事2 自家用有償旅客運送の更新登録申請について
—事務局からの説明(資料:P17~35)—

会 長:ご意見やご質問はないか。

委 員:異議なし

会 長:この公共交通というものは大切な行政課題であるため、この会議終了後も忌憚なくお尋ね頂きご意見を伺えればと思っている。
ほかにご意見がないようであれば承認を頂いたこととする。

<承認>

以上で、本日の協議事項は終わり事務局に進行を返す。

3. その他

事 務 局:岡山県タクシー協会和気支部支部長の小野様より、インベタクシーの代表者として次第に記載の案件についてお聞きしている。

委員：備前市内のタクシー事業者の初乗り運賃を下げたいというお願いをしたい。今は初乗り 1.3kmまで 640 円で、その後は 256mごとに 80 円加算している。10 円単位となっている。短縮をかけて 1.3kmを 1 kmにすると 500円になる。ただ、これを変えるのはタクシーメーターの切り替え等があるので次の料金改定の際に合わせて行うということになる。その料金改定がいつになるかは分からないが、東京はちょうど今年タクシー料金の改定を行っている。初乗り 500 円、加算運賃を 100 円という形だと大変計算がしやすくお釣りが出しやすい。それを見て私共のタクシーもそうできたらいいと考え、この場を借りてご承認を頂けたらと思う。

以前はこういった内容を改めて公共交通会議で議決を取らなくてもよかったが、何年か前に高知県の方でタクシー事業者さんが初乗り 100 円という申請を国交省に出し、過度に短縮をかけるというのは許さないという判断で却下されている。

それから、先程、市長様も仰って下さったように、今回市民の方の代表の方がおられるのでお詫びをしなければいけないことがある。私共本来、日中は車を 4 台走らせていて JR 様の最終電車が到着するまで午前 0 時 30 分まで営業を続けていた。ですが現在は、2 台しか動かしていないため、お待たせする時間が多くなって大変ご迷惑をおかけしている。17:00~22:00 の間は 1 台しか走らせていない。本来、たくさんの時間をたくさんの台数走らせた方が売り上げが上がるのは分かる。タクシーというのは生身の人間がお給料を貰ってドライバーとして運行しているので、これを今の状況で従前通りの運行をすると、最低賃金を割ってしまう。朝、点呼を含めて 6 時から出てきて夜中の 1 時頃まで働いて最低賃金を割るというような状況があってはならない。最低賃金を割っても私共が赤字を補填すれば何ら問題ないが、そんな余裕がない。その結果、現状の 2 台、1 台の状況で営業時間を短縮して動かしている。

非常に苦しい状態だが、その中で今の 640 円という初乗り料金をもしも 1 km以内で済まれる方なら、例えば伊部駅を降りられてマルナカまで行かれるような方でしたら 1 km以内なので 500 円で済ますことが出来る。そういった形で初乗りのメーターを短縮することによって、500 円、100 円といった分かりやすい形に今後、機会があつたら料金を変更できるようにこちらの公共交通会議でご賛同いただけていたらと思い提案させて頂いた。

会長：インバタクシーさんから業務上の提案を承った。コロナ渦で世の中が一変し観光客も少なくなった。また、なるべく外に出ないでコロナを乗り切ろうと特に高齢者の外出の機会が減ってきたのではないかと思う。一つひとつの生活様式の変化が様々な業界の皆様方にご不便やご心配をかけている。1 日も早くまた元の町にしなければならないと思っているが、問題が病気というところでお医者さん

に任せる以外手段は分からない。

毎日のようにテレビを見ているが、第7波、4回目の接種というところまで来ている。備前市民、東備地区のみなさんはなかなか初期の接種率や小さなお子様の接種が残念ながらデータでは元に戻っていない。あるいはまだまだ努力する余地があるわけです。通常の市民生活に戻ってこそ地域全体が活気のある前の備前市を取り戻せるのではないかと思っている。市もいろいろな窓口をもっているのご相談いただければ前向きに一緒になって考える。出来る限り解決策に近いいろいろな政策をさせて頂きたいと思っている。

先程の料金の件につきましても業界のご判断とっておりますのでひとつご判断を尊重しながら、1日も早く元の社会に戻るように市全体の政策に関しましても頑張らせて参りますので、もうしばらく我々も我慢しようと思う。

ただ、行政もできる限り応援をしていかないといけないと思っております。今日は小野さんにいいお話を頂きました。これからも行政の参考にさせていただきます。

委員：ご賛同いただけるか。

会長：それはいいでしょう。今日明日のことではないでしょうし。

委員：距離を短縮することでその分余計に高くなるということがありませんから、初乗りが安くなるということでご賛同いただけたらと思う。

事務局：この案件については、特に異論なく全会一致で賛同を得た。

ほかにご意見等はないか。

ないようなら事務局から一点、お知らせをしたい。

先月末に、北前船が日本遺産に追加認定された。このことにより備前市には3つの日本遺産があることになる。観光客の方にも公共交通を利用して頂きたいと考えている。具体的な案が出来れば紹介させて頂く。

最後に、閉会にあたり備前市公共交通会議副会長の大東正虎先生よりご講評をいただく。

副会長：今日は、岡山市内からバスで参りました。公共交通を取り巻く環境はかなり厳しく、岡山市内でもバスの減便があり、この場に間に合うかどうか焦りながら到着しました。今回の備前市営バスにおいてもダイヤ改正がありましたが、市民の方々にとどのように周知していくのか、また公共交通を使うとどのような良さがあるのかなど、いろいろと周知する方法を考えて頂きたいと思えます。特に、ダイヤ改正では、曜日によって運行時間が違うことがありますので、そういったと

ころも気を付けて発信して頂けたらと思います。

本日は皆さまに久しぶりにお会いできて非常に嬉しかったです。また、お気づきの点について発言をしていただけたらと思います。本日はありがとうございました。

5. 閉会